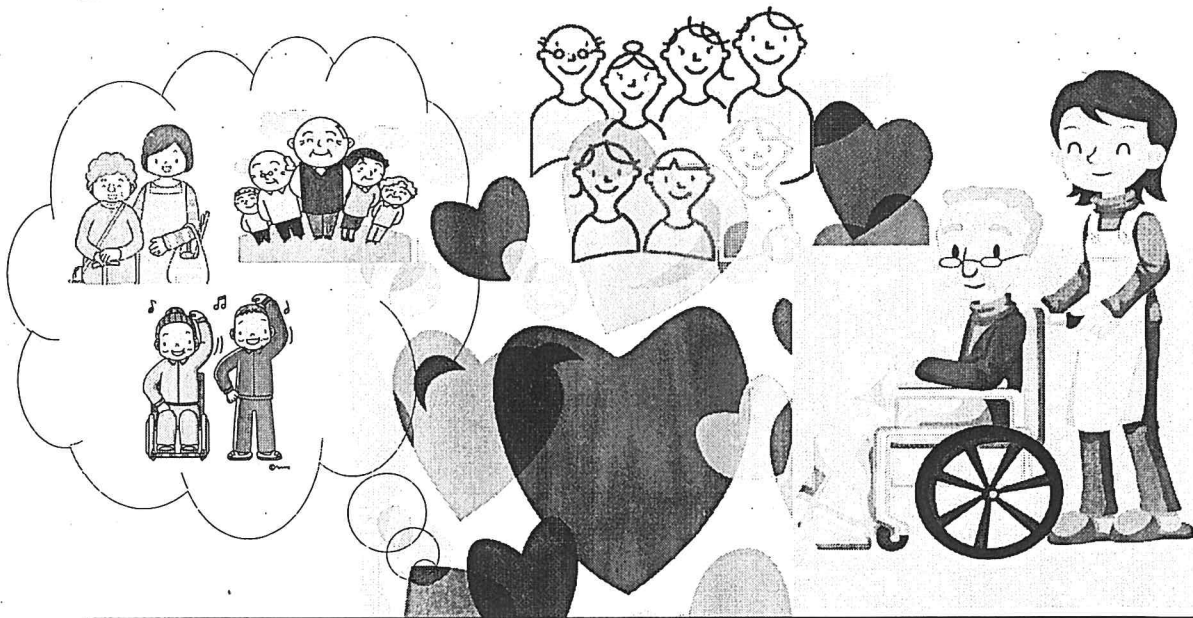


流山市の高齢化の現状について



流山市においても超高齢社会への対応が求められています

1

平成27年10月1日現在の地域別高齢化率等の状況 (市の住民基本台帳に基づく)

* %は小数点第2位以下四捨五入()内は前年度比

○北部地域

人口=38,340人(▲139人) 65歳以上人口=11,424人(+383人)
地域内高齢化率 : 29.8%(+1.1%)
75歳以上人口=5,025人(高齢者人口に占める割合=44.0%)

○中部地域

人口=41,762人(+1,377人) 65歳以上人口=9,143人(+368人)
地域内高齢化率 : 21.9%(+0.2%)
75歳以上人口=3,867人(高齢者人口に占める割合=42.3%)

○東部地域

人口=37,751人(+88人) 65歳以上人口=9,953人(+229人)
地域内高齢化率 : 26.4%(0.6%)
75歳以上人口=4,380人(高齢者人口に占める割合=44.0%)

○南部地域

人口=56,909人(+1,410人) 65歳以上人口=11,265人(+481人)
地域内高齢化率 : 19.8%(+0.4%)
75歳以上人口=4,434人(高齢者人口に占める割合=39.4%)

【市全体】

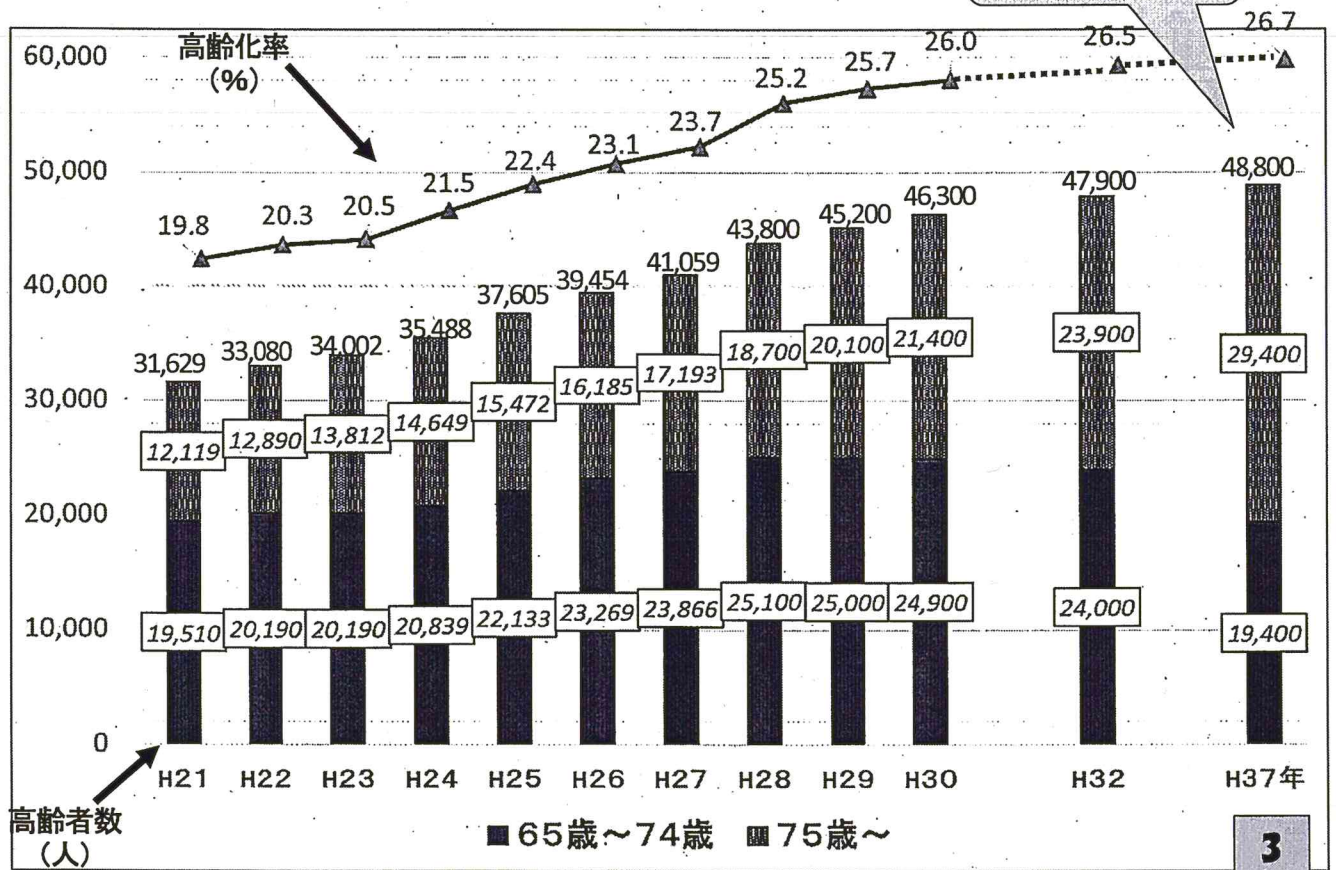
総人口=174,785人(+2,759人)
65歳以上人口=41,785人(+1,461人)
高齢化率 : 23.9%(+0.5%)
75歳以上人口=17,706人(高齢者人口に占める割合=42.4%)

2

流山市における高齢化の推移と将来推計

※H28～H37については推計値

10年後には75歳以上人口が前期高齢者人口を上回る！



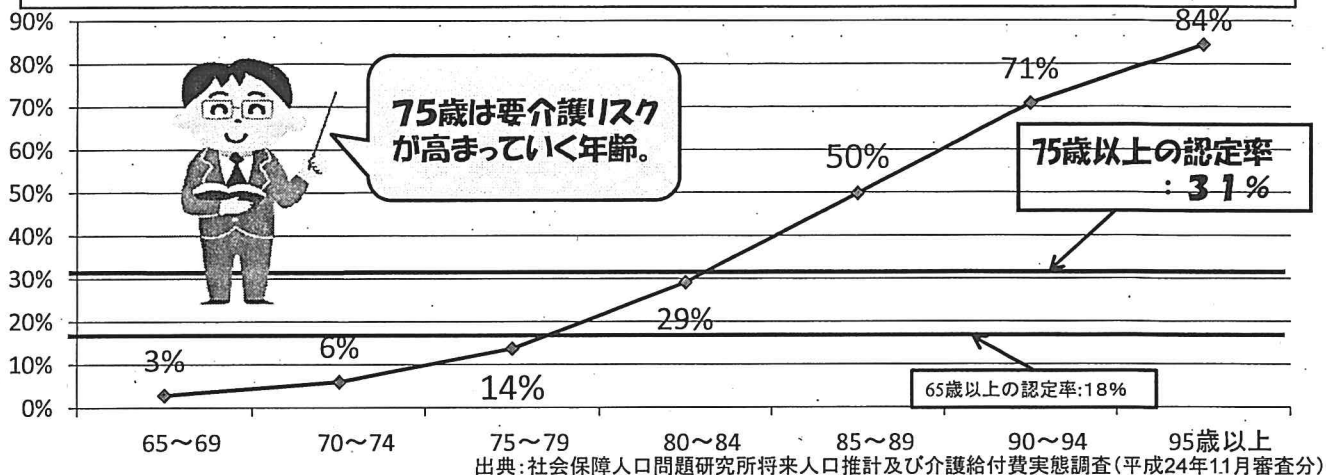
流山市の2025年(H37年)の推計(まとめ)

(推計数は高齢者支援計画からの抜粋)

	【H27年】	【H37年】
65歳以上人口	41,059人	→ 48,800人 (+7,741人)
75歳以上人口	17,193人	→ 29,400人 (+12,207人:1.7倍)
高年齢率	23.7%	→ 26.7% (+3%)
要介護認定者数	6,536人	→ 11,405人 (+4,869人:1.7倍)

なぜ、75歳以上人口が増え続けると心配なのか？
年齢階層別の要介護認定率（全国データ）

- 要介護（支援）認定率は、年齢とともに上昇し、85歳～89歳では約半数が認定を受けていますが、1号被保険者（65歳以上）全体で認定を受けている率は、約18%程度です。
- 後期高齢者医療（75歳以上）での受診率は96.9%と、ほぼ全員が医療機関とのかかわりをもっています。



【参考】平成22年度1年度間において、入院、入院外又は歯科のいずれか1医療機関以上で診療を受けた者（合計）の割合

協会（一般）	84.8%
組合健保	85.0%
国民健康保険	84.0%
後期高齢者医療（75歳以上）	96.9%

（資料）平成22年度 医療給付実態調査

5

流山市の高齢者世帯の状況（単位：世帯）

【H25年度】 【H26年度】 【H27年度】

ひとり暮らし世帯 6,991 → 7,489 → 7,970
 (+498) (+481)

高齢者のみ世帯 7,858 → 8,402 → 8,871
 (+544) (+469)

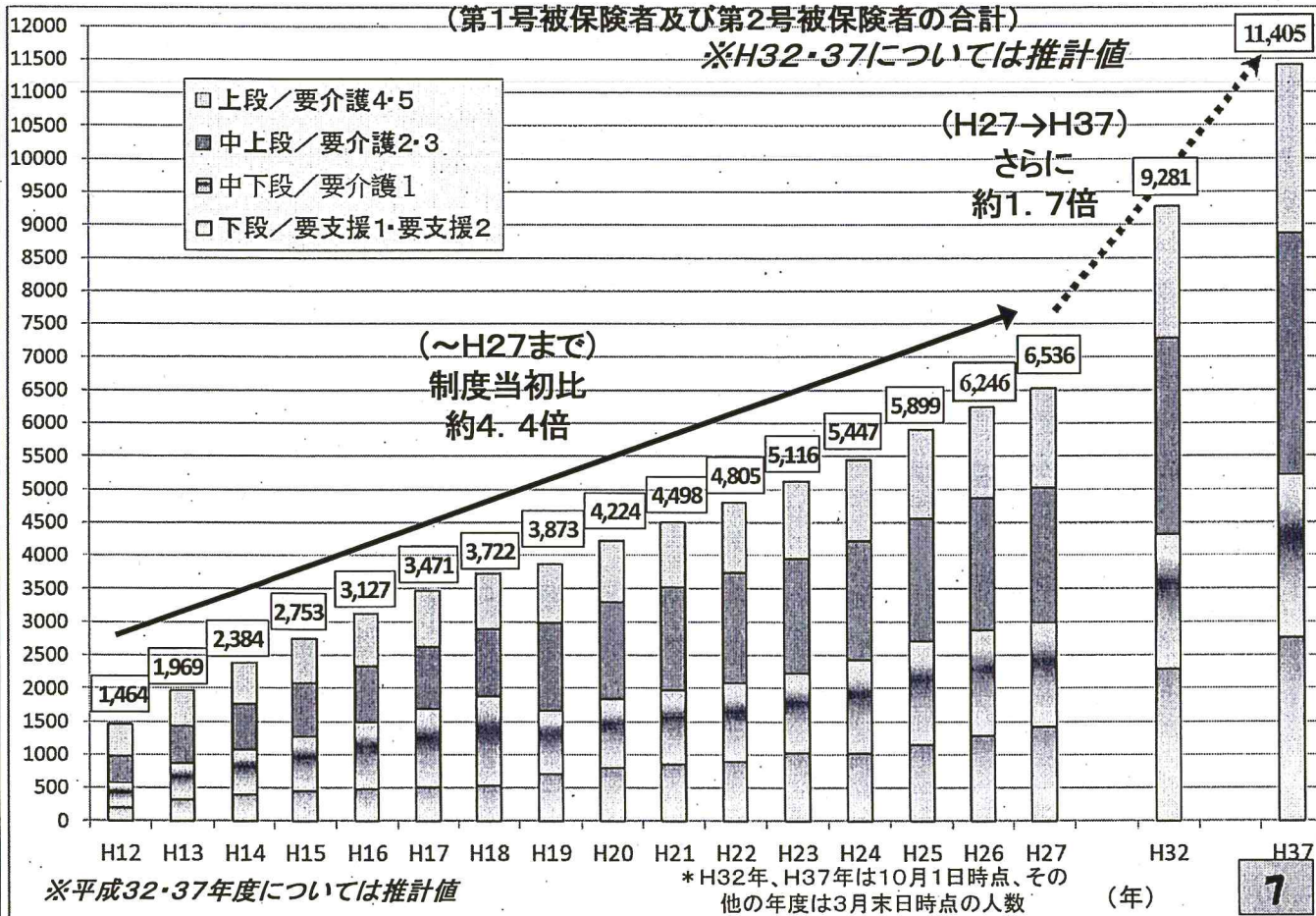
6

単位(人)

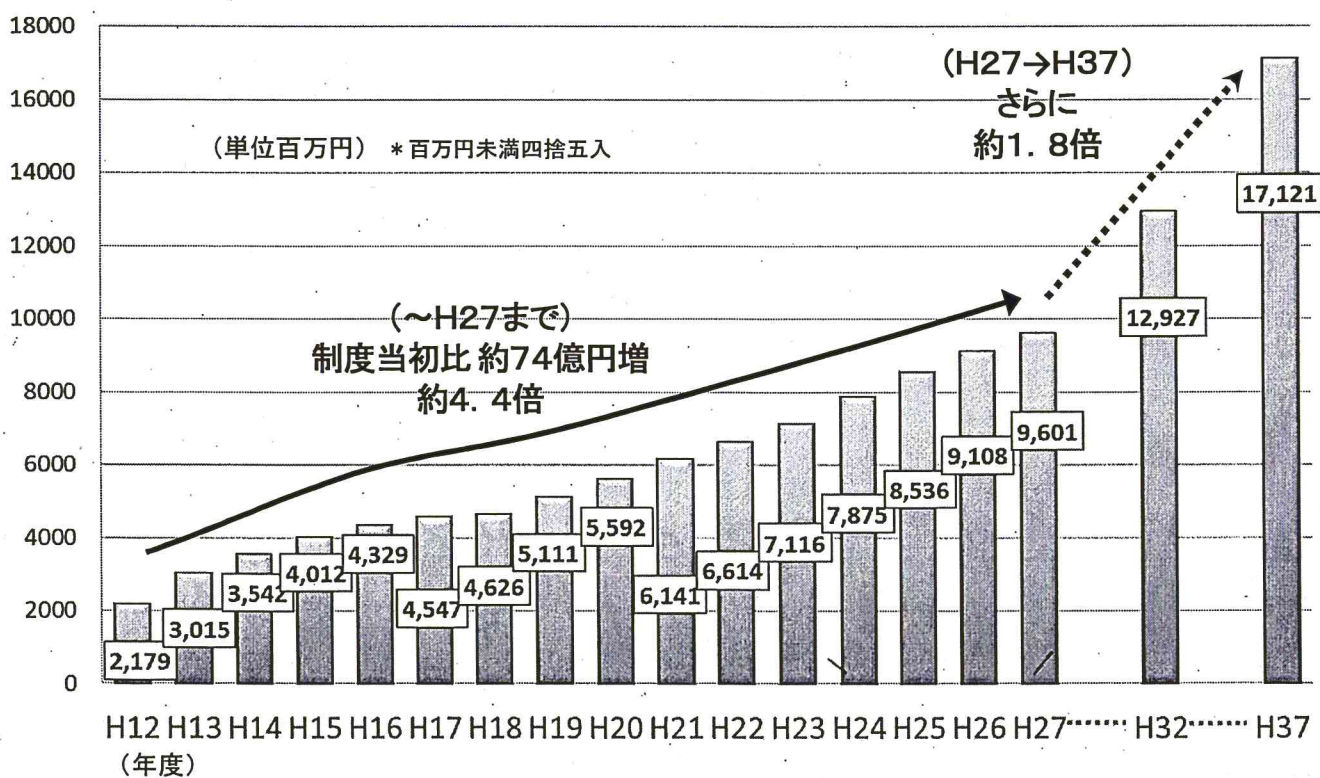
流山市の要支援・要介護認定者数の推移・将来推計

(第1号被保険者及び第2号被保険者の合計)

※H32・37については推計値



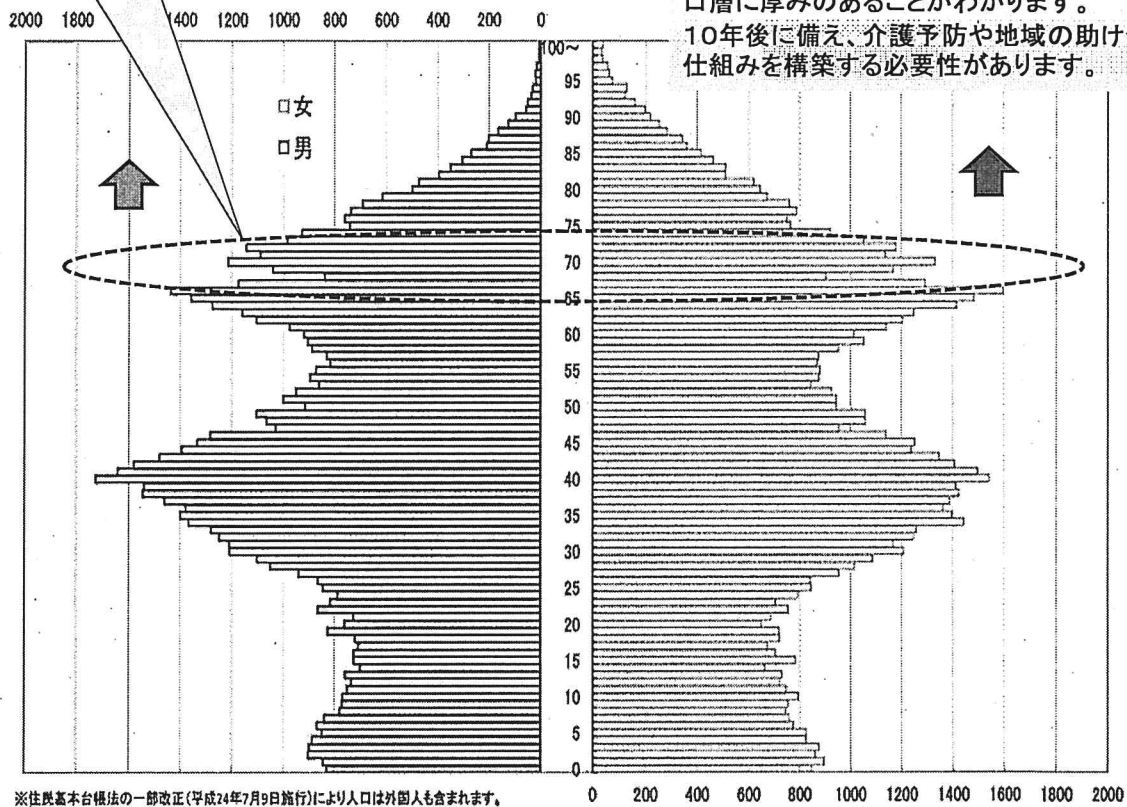
流山市の介護保険給付費の推移・将来推計



人口ピラミッド(流山市。H25年版)

この世代の方々がで
きる限り元気を維持
し続ける対策が必要

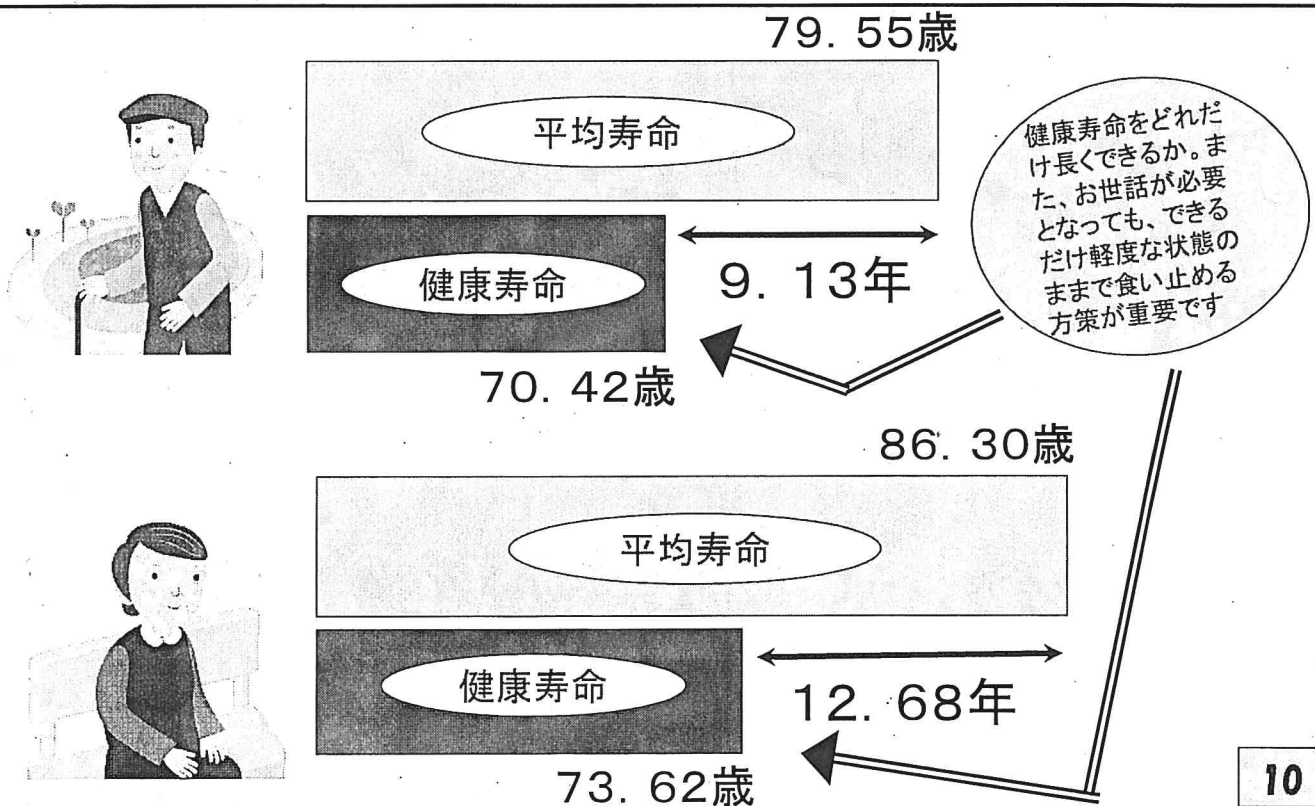
これから10年先に要介護認定を受ける割合が
高まる75歳以上に移行する65歳～75歳の人
口層に厚みのあることがわかります。
10年後に備え、介護予防や地域の助け合いの
仕組みを構築する必要があります。



9

平均寿命 — 健康寿命(日常生活に制限のない期間)
= お世話が必要な年数

(平成22年における全国推計)



10

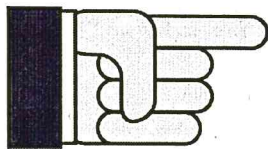
超高齢社会への対応として進める必要がある 優先度の高い取組みのひとつ

誰もが身近な場所で
取り組める介護予防の
仕組みづくり



高齢者の健康寿命
の延伸と生きがい
づくりに効果

11



流山市の特徴を活かして地域の
身近な場所に介護予防・ふれあ
いの場をつくっていく

★ ★
高齢者ふれあいの家

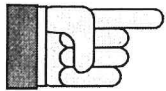
流山市内には100
箇所以上の自治会
館があります。

★ ★
福祉会館・自治会館など

★ ★ ★
**介護保険施設の地域交流
スペース**

イメージとしては
高齢者の方々が
歩いて行ける距離
が望ましい

12



～H26年度から取り組み始めたこと～
 地域の高齢者の集いの場である「高齢者ふれあいの家」を
 介護予防の拠点にしていくこと。

★地域への介護予防の機会の提供★

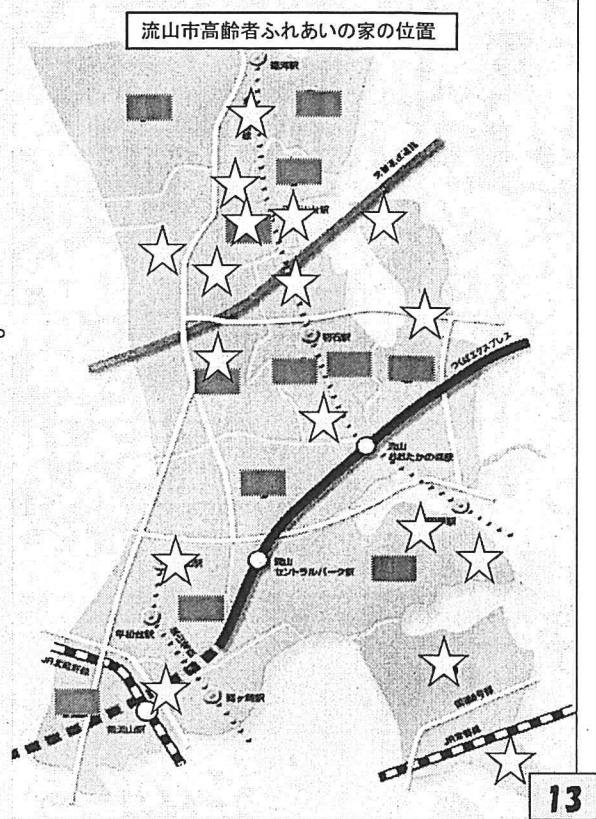
流山市には、空き家等を住民・NPOが運営する『高齢者ふれあいの家』が、現在17箇所あります。

この高齢者ふれあいの家において、介護予防教室を実施するために、介護予防の指導ができる人材を派遣する事業（＝「ながいき応援団」派遣事業）を26年10月から開始しています。

★元気づくり体操を指導できる指導者
 （重度化防止推進員） 現在18名

今後は、重度化防止推進員の派遣先を、高齢者ふれあいの家のほか、希望を募り、自治会館などにも拡大していく計画です。

また、内容として、市内のリハビリテーションに関する専門職の協力を得て、口腔機能、栄養改善などの介護予防に資するものを追加して充実していくことを計画しています。



13

(参考) 高齢者ふれあいの家支援事業の概要

高齢者ふれあいの家＝おおむね65歳以上の高齢者が自由に集まり、高齢者の健康、生きがい等に関する趣味活動、教養講座等の開催による交流や、子ども等との世代間交流といった活動を場所をいいます。

開設に当たっての支援

ふれあいの家の開設に当たっての家屋の改修、備品等の調達等を要する場合
 200,000円（限度額）を支給

支援費の支給

利用人数 実施回数	1回の開催において 最高10人以上	1回の開催において 最高5人以上10人未満
週5回～7回	年額150,000円	年額100,000円
週3回～4回	〃 100,000円	〃 75,000円
週2回	〃 75,000円	〃 75,000円

*いずれも支給限度額

賃借料の支援

ふれあいの家が賃貸借契約に基づき賃貸料を支払う場合
 月額20,000円（限度額）を支給

14

ながいき応援団派遣の提供プログラム

今後はもっとメニューのバリエーションを増やすよ！ 現在作戦会議中。

ながいき応援団

プログラム

派遣先	高齢者ふれあいの家等で主に高齢者が参加する団体等
派遣費用	無料
報償費 (推進員への支払)	1回 2,500円
派遣時間	1時間から1時間半程度
実施内容	介護予防に資する体操や脳トレ、レクリエーション
派遣日数	月2回～4回
保険対応	「全国市長会」 市民総合賠償補償保険

～プログラムの一例～

流山市民の歌紹介～5分～

体操の前のストレッチ
～5分～

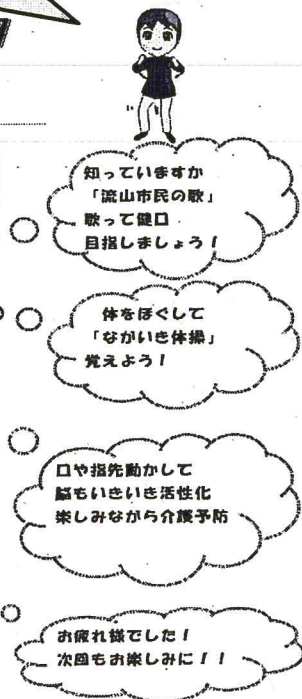
ながいき体操
～30分～

楽しく介護予防
～20分～

- ・脳トレ
- ・指体操
- ・じゃんけんゲーム
- ・肩たたき
- ・健口体操
- ・リズム体操
- ・筋トレ

(いくつか組み合わせで実施します)

終わりのストレッチ
～5分～



15

ながいき体操



①前奏



②風わたる



③川廻を行けば



④うつりゆく



⑤季節の香り



⑥新ごとに



⑦富士を眺めて



⑧今日もまた



⑨胸に太陽



⑩ああ流山



⑪光の輝



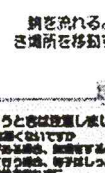
⑫若い希望が



⑬生まれるように



⑭間奏



流山市民の歌

作詞:岩谷時子 作・編曲:いずみたく

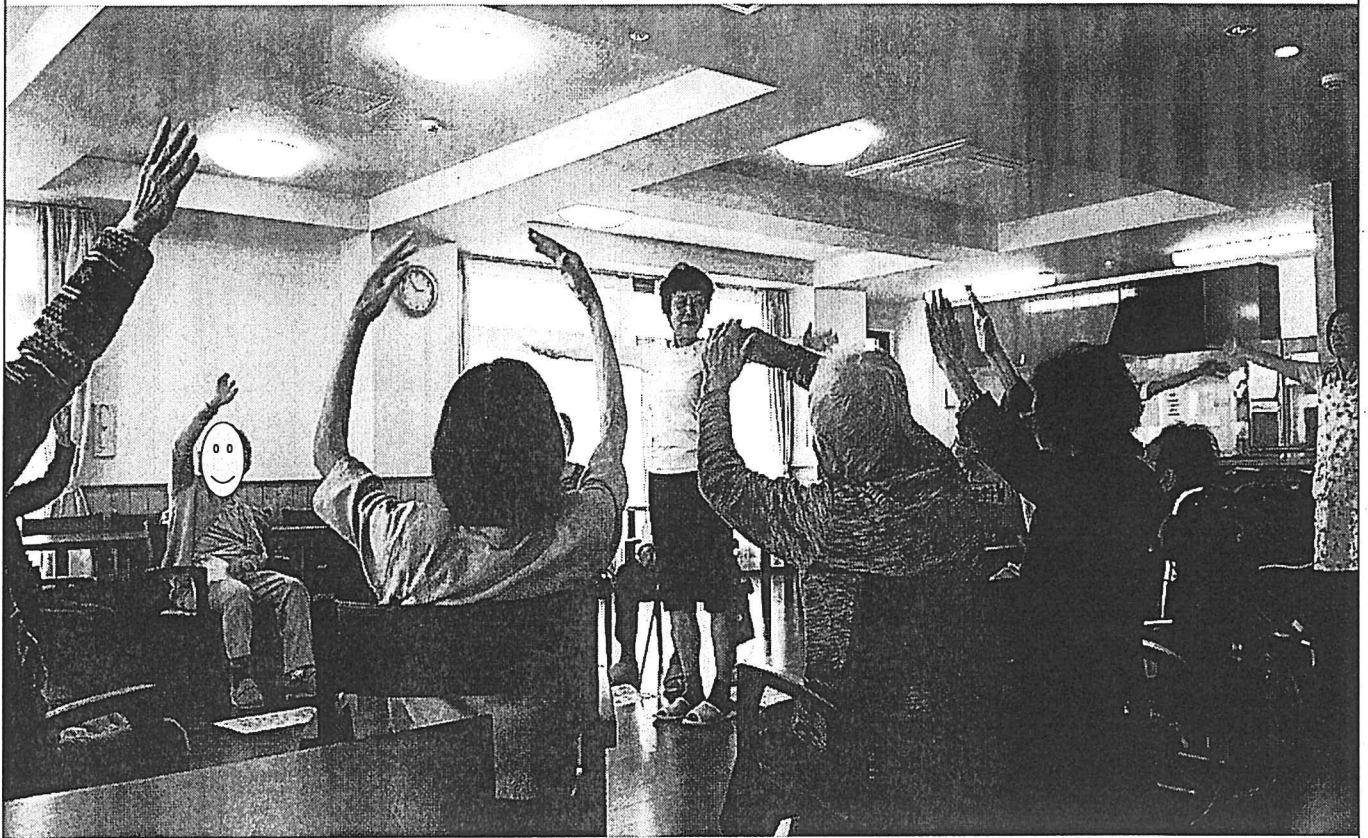
- 風わたる 川廻を行けば
うつりゆく 季節の香り
朝ごとに 富士を眺めて
今日もまた 胸に太陽
ああ流山 光の輝
若い希望が 生まれるように
- 青空が ここにはあると
書きそえる 友への便り
さわやかな 愛をひろげて
いつの日も 人は暮らすよ
ああ流山 こころの街
窓に明るい 花咲くように
- 木はみどり 大地はゆたか
夢さそう 小鳥の歌よ
将来(あした)へと 歴史をつなぐ
すこやかな いのち守ろう
ああ流山 羽ばたく街
歳で子どもが ほほえむように

体操を行うときは意識しましょう

- ・両足を揃えておいて
- ・両手を肩の高さ、肩幅で広げましょう
- ・頭、肩、腰、膝、足首が一直線になるように
- ・呼吸を止めず

16

【ながいき応援団（重度化防止推進員）によるながいき体操の指導の様子】



17

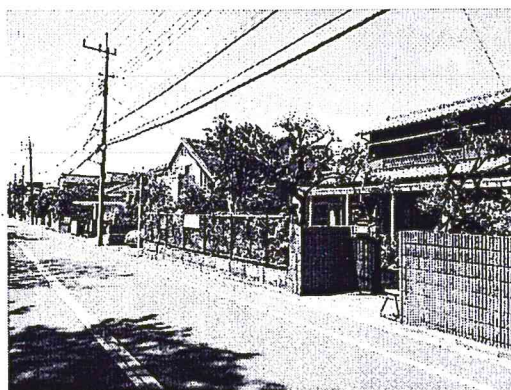
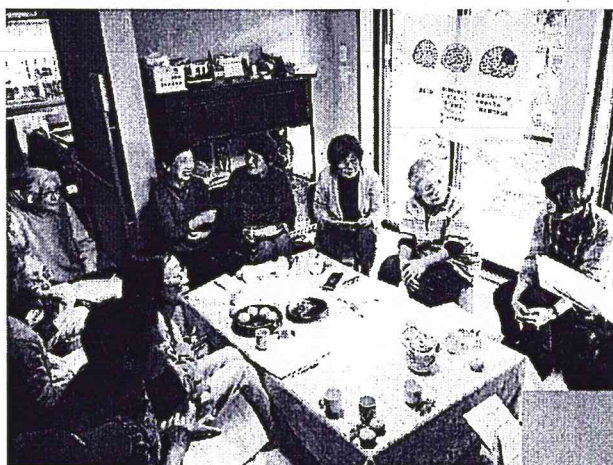
ながいき応援団 派遣実績(26年10月～27年10月)

派遣先	回数	参加者(延)	ながいき応援団 派遣人数(延)
高齢者 ふれあいの家 (要請による派遣)	5か所 81回	721名	112名
地域の団体等 (要請による派遣)	44回	1,333名	60名
一次予防事業 (自治体事業への協力)	12回	364名	20名
合計	137回	2,418名	192名

☆参加者の声

- * 活発に運動やストレッチができ、楽しく取り組めている。
 - * 一人ではできないがふれあいの家で皆と集まって体も心も優しくほぐれてよい。
 - * 脳トレやじゃんけんなど色々取り入れているので楽しい。
 - * ながいき体操は年齢を問わずゆっくりした体操で誰にでもできる体操だと思う。
- 市民の歌とともに広がるといいと思う。

18



【認知症講座
… 地域包括支援センターを招いて開催】



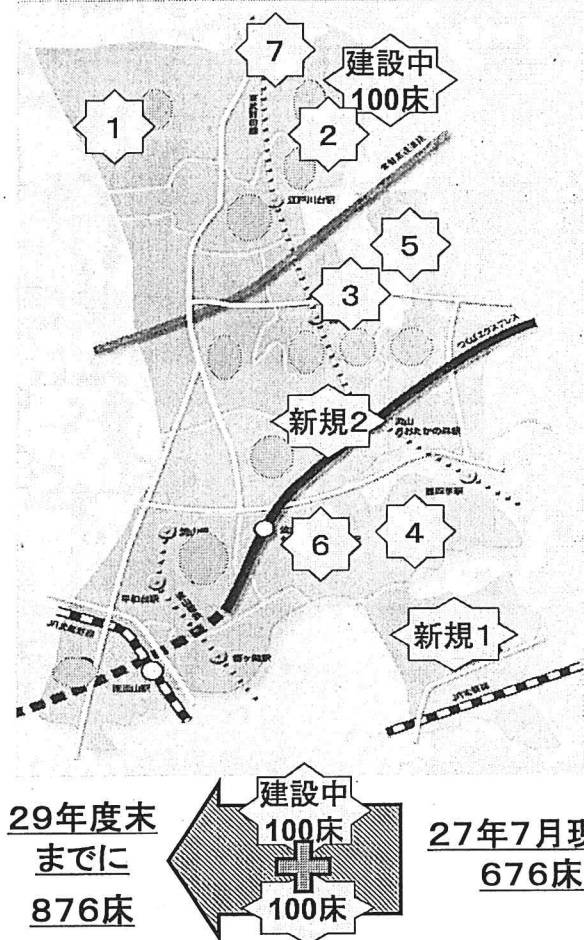
【みんなで介護予防体操】

並行して、、、

万一、本格的な介護が必要となった
ときに対応する
介護保険サービスの充実化も
流山市においては、
高齢者支援計画に位置付けて
計画的に整備しています。

特別養護老人ホームの整備

寝たきり等の在宅生活が困難な重度の介護を要する方が中心として入所し、日常生活上のお世話や、機能訓練などの提供を受けます。入所対象は、原則として、要介護3以上。自己負担は、負担割合で異なりますが、諸費用を合わせておおよそ1か月7万円（多床室で低所得の方）～15万円（個室で軽減制度なし）です。



- ① リバーパレス流山（100床）
- ② はまなす苑（60床）
- ③ 初石苑（50床）
- ④ 特別養護老人ホームあざみ苑（108床）
- ⑤ 流山こまぎ安心館（100床）
- ⑥ 特別養護老人ホーム月の船（100床）
- ⑦ 春の苑（29床。小規模型）



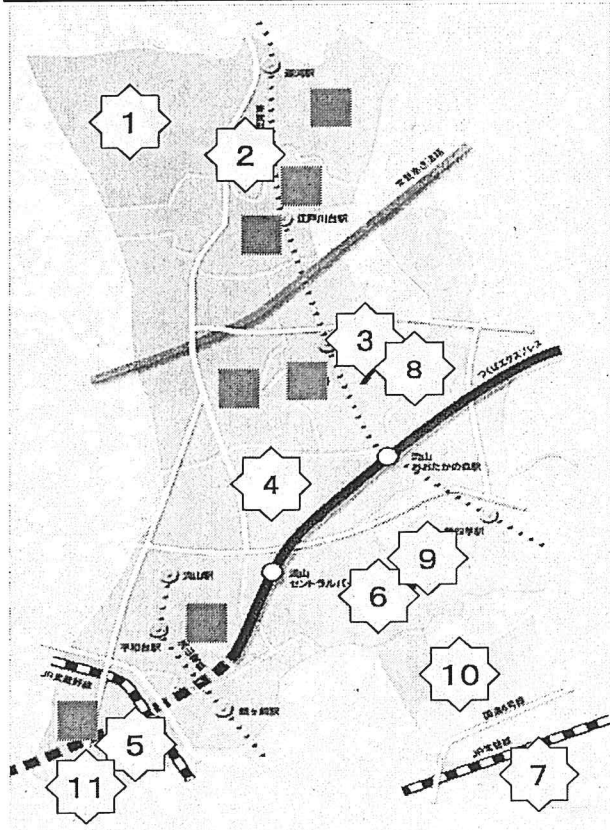
特別養護老人ホーム美晴
らしの里（名都借1126。100床＋
短期入所8床）

特別養護老人ホーム季の花
（西初石5-60-1。29床＋短期入所10
床）

21

認知症対応の グループホームの整備

要支援2以上の認知症を抱える方が入居対象です。少人数制の手厚い介護により、認知症上の緩和を目指しています。現時点でグループホーム（認知症対応型共同生活介護）は、11箇所の整備状況ですが、認知症者は今後も増加が見込まれることから、H29年度末までに、18人分の追加整備を計画しています。自己負担は、負担割合で異なりますが諸費用を合わせておおよそ1か月18万円～24万円です。



- 1) グループホームわたしの家（定員15名）
- 2) 愛の家グループホーム流山美原（定員18名）
- 3) グループホーム花いちもんめ
- 4) おおたかの森グループホームあぜみち
- 5) 愛の家グループホーム南流山
- 6) クララ清流
- 7) マザアスホームだんらん流山
- 8) グループホーム花いちもんめ翠
- 9) クララ清流式番館
- 10) グループホーム「和（なごみ）」
- 11) グループホームガーデンコート南流山

※3～11利用定員はいずれも9名

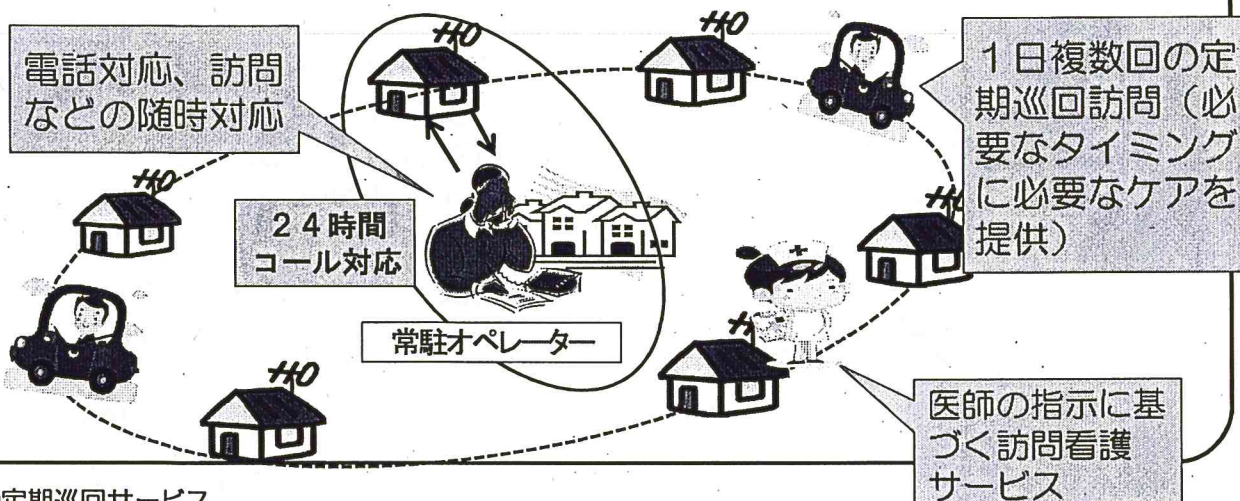
* (4)、(6)、(9)は要介護認定者のみ利用可能

22

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
24時間対応型の在宅訪問介護サービス(平成25年度～)

事業者:
24時間サポ-
ト流山

日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が連携しつつ24時間対応する安心のサービス。
これからの在宅サービスの中心的な役割を担うサービスです。要介護1以上が利用対象です。



①定期巡回サービス

1日複数回、介護職員が、短時間の定期訪問を実施し、入浴、排せつ、食事等の介護など、必要なサービスを必要なタイミングで提供します。

②随時対応サービス

利用者からのコール(専用回線)にオペレーターが対応し電話での助言対応を行います。必要と判断した場合には、随時の訪問サービスを行います。

③訪問看護サービス

医師の指示に基づき、必要な療養サービスを看護師等が提供します。

※費用は、訪問看護の利用が無い場合、1か月当たり、要介護1が5,777円(1割)・11,554円(2割)円～要介護5が26,193円(1割)・52,386円(2割)です(介護度で異なります)。